

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 持ち直し

8月の公共工事請負金額は、市町村は減少したものの、都道府県、独立行政法人等が増加したため、全体では2か月連続で前年を上回った（前年比0.5%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
山形県	33.4	96.6	91.7	▲2.2	10.5	0.5

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 増加

7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、卸・小売、医療・福祉などは増加したものの、製造業、農林水産などが減少したため、全体では6か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲43.5%）。6月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業で上方修正され、2年連続で増加する計画（前年度比36.7%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
山形県	▲57.9	47.1	▲37.3	▲12.0	▲32.8	▲43.5

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2017年6月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度(実績)	2016年度(実績)	2017年度(計画)
全産業	▲9.8	24.6< 8.7>	36.7< 6.9>
製造業	▲22.3	28.8< 24.6>	63.7< ▲2.1>
非製造業	12.1	19.5< ▲6.7>	1.7< 31.9>

<資料>日本銀行山形事務所

< > 内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費 …… 底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、全体では前年並みの水準となった（前年比0.1%）。

家電販売は、季節家電などが増加したことから、前年の水準を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 10～12月	2017年 1～3月	4～6月	2017年 5月	6月	7月
全店	2.7	▲1.8	0.6	▲0.7	▲1.1	1.9
既存店	2.8	▲1.6	▲1.4	▲2.6	▲2.9	0.1

＜資料＞経済産業省

8月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、11か月連続で前年の水準を上回った（前年比6.8%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
乗用車 (含む軽)	▲2.0	18.6	7.5	17.9	7.0	6.8
乗用車 (除く軽)	2.8	16.3	12.6	11.2	0.9	5.8

＜資料＞東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資 …… 一進一退

7月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも減少したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲18.5%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
山形県	▲7.6	6.2	▲20.1	▲17.7	19.6	▲18.5
持家	▲6.7	30.1	▲6.3	▲14.4	▲1.5	▲7.5
貸家	▲8.1	▲14.6	▲54.8	▲45.5	61.2	▲29.3
分譲	▲11.8	23.3	▲8.5	▲40.6	19.6	▲39.3

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、3か月ぶりに低下した(前月比▲7.4%)。業種別には、金属製品、輸送機械など7業種は上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、化学など15業種は低下した。

6月の在庫指数(季節調整済)は、4か月ぶりに低下した(前月比▲1.4%)。

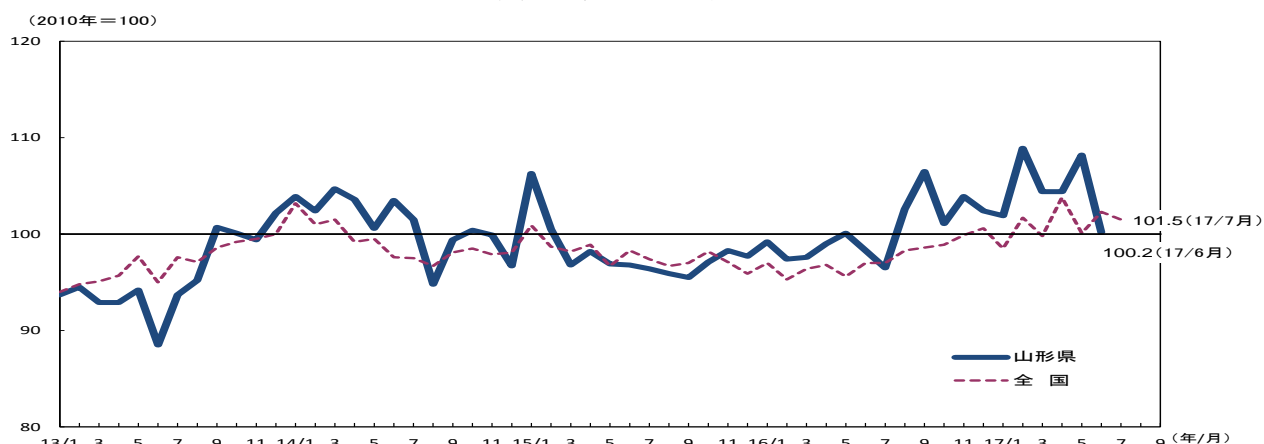
(図表7) 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	3.8	▲1.4	▲4.1	r 0.0	3.6	p ▲7.4
	原指数前年比%	12.4	3.8	6.9	r 5.1	8.8	p 1.8
在 庫	季節調整済前月比%	▲1.8	1.2	0.1	r 4.7	0.4	p ▲1.4
	原指数前年比%	▲0.7	2.7	2.6	r 10.6	10.2	p 9.5

〈資料〉山形県企画振興部

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

7月の有効求人倍率は、1.56倍となった。業種別には、サービス、宿泊・飲食の新規求人は減少したものの、製造業、卸・小売などは増加した。7月の雇用保険受給者は、15か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲14.5%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2016年 10~12月	2017年 1~3月	4~6月	2017年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.38	1.42	1.52	1.53	1.52	1.56
有効求職者数	〈▲4.7〉	〈▲7.3〉	〈▲7.6〉	〈▲8.1〉	〈▲7.6〉	〈▲8.3〉
有効求人数	〈11.2〉	〈6.2〉	〈8.9〉	〈8.3〉	〈8.9〉	〈9.6〉
完全失業率	1.7	2.1	2.0	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲3.1〉	〈▲12.5〉	〈▲14.4〉	〈▲6.6〉	〈▲14.4〉	〈▲14.5〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

(注)有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は、3か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.7%）。業種別には、医療・福祉、教育・学習支援などは前年の水準を下回ったものの、卸・小売、宿泊・飲食などは前年の水準を上回った。

6月の所定外労働時間は、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲0.6%）。業種別には、建設、学術研究等は前年の水準を上回ったものの、医療・福祉、教育・学習支援などは前年の水準を下回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 4月	5月	6月
常用雇用指数	0.1	0.8	0.0	0.4	0.6	0.7
所定外労働時間	▲3.7	▲6.1	▲4.2	0.4	0.4	▲0.6

＜資料＞山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

6月の現金給与総額（名目賃金指数）は、卸・小売、教育・学習支援などは増加したものの、運輸、医療・福祉などは減少したため、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲0.4%）。

6月のきまって支給する給与は、3か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.5%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 4月	5月	6月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.1	0.1	▲2.4	1.5	0.9	▲0.4
きまって支給 する給与	▲1.5	▲1.4	▲1.3	0.6	0.6	0.5

＜資料＞山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

8月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）では前年（5件）を下回ったものの、負債総額（5.1億円）では前年（4.3億円）を上回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
件数	5	2	4	1	5	4
負債総額	16.9	32.5	4.2	0.4	6.0	5.1

＜資料＞(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.8%)。費目の内訳をみると、住居、保健医療は前年を下回ったものの、光熱・水道、生鮮食品を除く食料などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
総合	▲0.6	0.3	0.8	0.8	0.9	0.7
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲0.1	0.9	0.8	0.6	0.8

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比0.9%)。

7月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比2.0%)。

この間、7月の貸出金利は低下した(前月比▲0.004%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
実質預金+CD (末残前年比)	1.0	0.9	1.0	1.2	1.1	0.9
貸出金 (末残前年比)	3.7	2.8	2.4	1.9	2.0	2.0

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 10~12月	2017年 1~3月	4~6月	2017年 5月	6月	7月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.015	▲0.013	▲0.016	▲0.007	▲0.003	▲0.004

7月末水準
1.064%

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004